

令和 5 年度 東之宮古墳保存・管理・活用状況（報告）

1. 東之宮古墳管理業務

・・・資料 1-1

東之宮古墳の維持管理のため、次の事項を実施

- ・古墳周辺、進入路の清掃（毎月）
- ・古墳周辺、進入路の草刈り（7月、10月、11月、3月(予定)）
- ・古墳墳丘草刈り（11月）
- ・成田山側入り口、危険樹木3本の伐採と2本の剪定

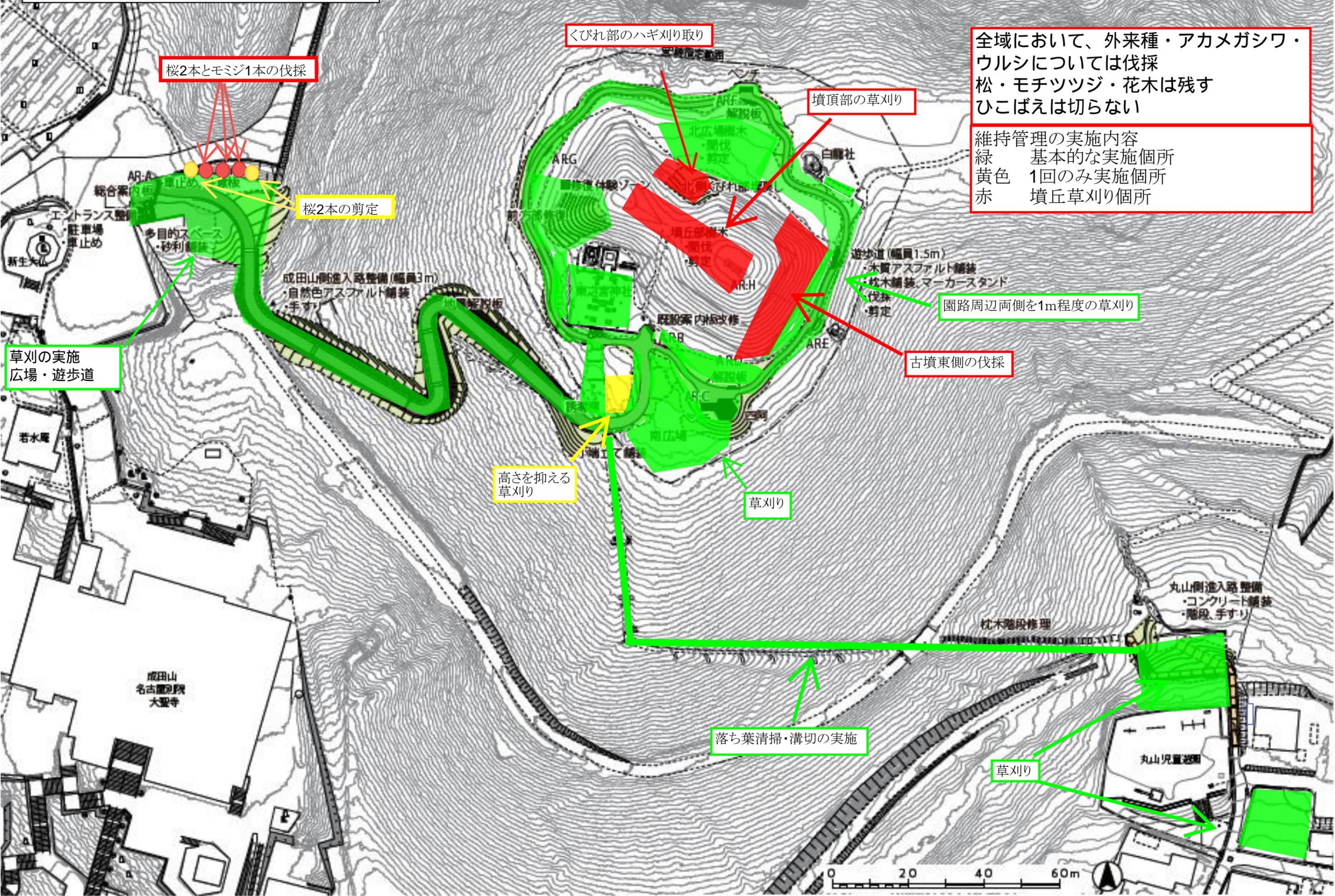
2. 東之宮古墳の利用状況

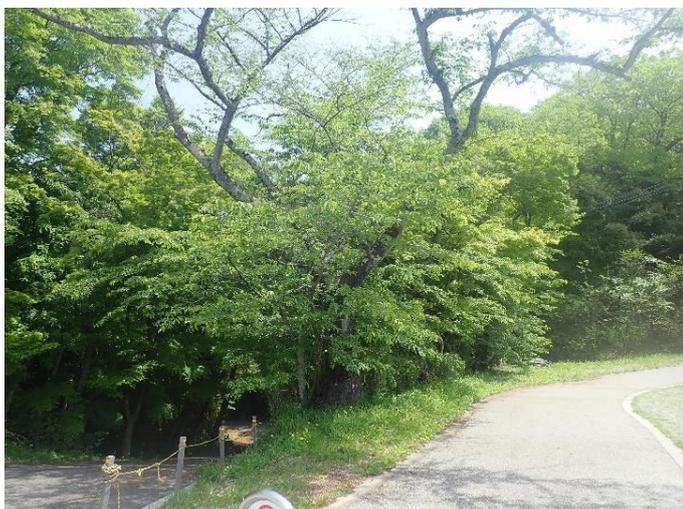
パンフレット配布状況	令和5年4月～令和6年2月	約3700部
	現地配布枚数	約550部

3. 東之宮古墳普及啓発事業

・・・資料 1-2

実施内容	東之宮古墳 土あげ祭
	<p>①日時 第1回 令和5年11月3日（金・祝） 東之宮古墳修復プロジェクトとして、現代の道具を使った古墳の修復を実施</p> <p>第2回 令和5年12月23日（土） 雨天により予備日に延期となり、予備日も降雪のため冬至の日の出見学会のみ開催</p> <p>第3回 令和6年3月20日（水・祝）午前10時～正午 （予定） 令和6年3月23日（土）・・・予備日</p> <p>② 内容 東之宮古墳の前方部の削れている箇所を、市民参加により古墳を修復するイベント「土あげ祭」により修復する。この事業は令和3年度から令和7年度にかけて実施する。</p>
	東之宮古墳散策ツアー
	① 日時 令和5年10月14日（土）
	② 内容 川を挟んで見た東之宮古墳と題して、東之宮古墳と鵜沼駅周辺の文化財を巡った。
	③ 参加者 4名





剪定・伐採前



伐採箇所(現状)



古墳東側(現状)



古墳東側、墳丘上から(現状)



古墳北側くびれ部(現状)



登り口(現状)



山頂付近(現状)



古墳北側(現状)



土あげ祭実施個所(現状)



墳丘上(現状)

令和5年度 東之宮古墳普及啓発事業開催状況

1. 古墳修復事業

第1回 東之宮古墳修復プロジェクト

日 時：令和5年11月3日（金・祝）午前9時半～午前11時半

参加者：10人

その他：車などを使い、修復に力を入れたイベントとして実施



土のう土入れ



土のう運搬

第2回 冬至の日の出見学と土あげ祭

日 時：令和5年12月23日（土）午前6時30分～午前7時30分

参加者：20人

その他：当初予定の12月16日は雨天のため延期し、予備日の23日に開催したが、降雪のため土あげ祭は中止し冬至の日の出見学のみ開催



講師による解説



日の出(イベント終了後に撮影)

第3回（予定）

日 時：令和6年3月20日（水・祝）午前10時～正午

場 所：東之宮古墳（集合 東之宮古墳成田山側入口）

定 員：40人

内 容：劇を交えてながら古代人になりきって古墳を修復し、土を2回あげる予定。



令和4年度開催の様子

2. 東之宮古墳散策ツアー

日 時：令和5年10月14日（土）午前9時～正午

参加者：4人

内 容：「川を挟んで見た東之宮古墳」と題して、東之宮古墳を学べるアプリ「東之宮古墳たび」にコースを設定し、東之宮古墳と鶴沼駅周辺の文化財を巡った。またゴールの達成記念で東之宮古墳で出土した鏡の3Dデータを配信した。

その他：本年は第20回犬山市産業振興祭と同日の開催となってしまったため、参加者が伸び悩んだ。



東之宮古墳の解説



金縄塚古墳の解説



散策コース

令和6年度 東之宮古墳保存・管理・活用事業計画

1. 東之宮古墳管理業務

東之宮古墳の維持管理のため、次の事項を予定

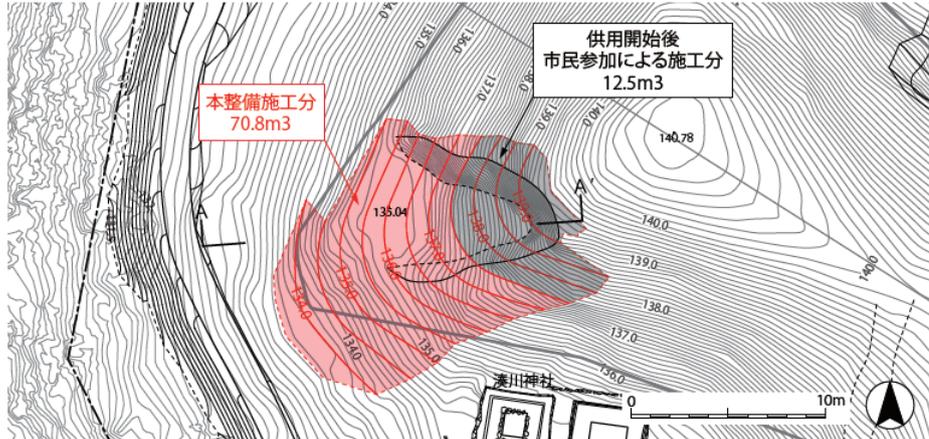
- ・古墳周辺、進入路の清掃（毎月）
- ・古墳周辺、進入路の草刈り（年4回）
- ・古墳墳丘草刈り（年1回）
- ・枯木等の伐採

2. 東之宮古墳普及啓発事業

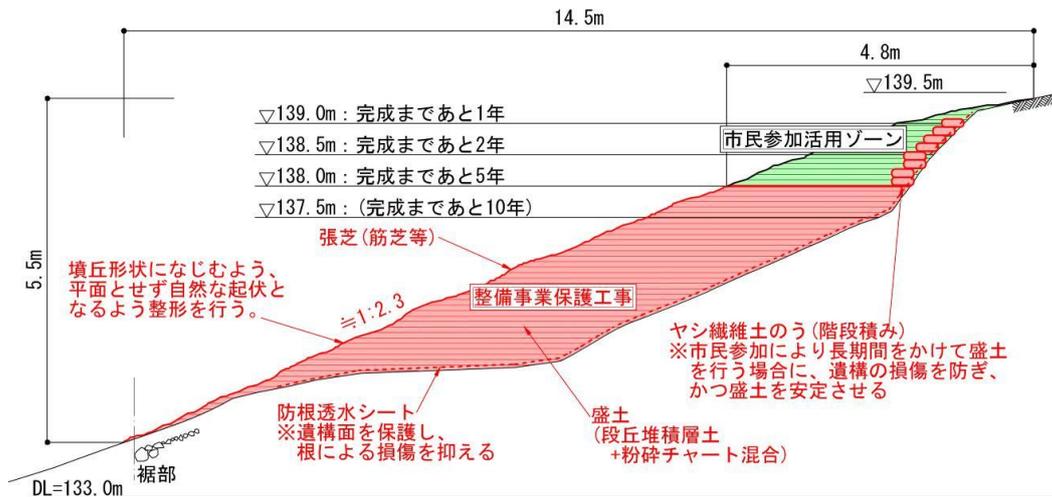
実施内容	① 東之宮古墳修復イベント 10月 東之宮古墳修復プロジェクト 3月 土あげ祭 募集人数40名を予定
	② 冬至の日の出見学会 12月 募集人数20名を予定
	③ 東之宮古墳散策ツアー 10～11月に開催予定、募集人数20名を予定 コース検討中

東之宮古墳前方部修復について

1. 修復箇所



【図 4-3】 前方部修復平面図 (S=1/300)



2. 実施方法

春分の日、冬至の周辺日に市民参加の古墳修復イベント「土あげ祭」を開催し、古墳の修復を行っている。令和5年度から秋分の日土あげ祭を車両等を使い古墳を修復する東之宮古墳修復プロジェクトに変更した。

(1) 土の作成

- ・土(段丘堆積層)は地元工事業者を通し、令和5年度に追加で購入
- ・粉砕チャートは進入路の壁面チャートから落下したものを集積して購入土と混合する。

(2) 土上げ

- ・土のう袋に作成した土を詰め、土漏れ、運びやすさを重視し麻袋で包む。
- ・1人で背負い方式で運びあげる。



(3) 土の叩きしめ

- ・運びあげた土を墳丘の前方部西コーナーに降ろし、木製タンパーを使用して叩きしめる。



(4) 東之宮古墳修復プロジェクト



3. 前方部の修復について

(1) 修復の現状について

当初予定（令和3年4月～令和5年12月）

- ・土あげ祭6回、東之宮古墳修復プロジェクト1回

実際の開催状況

- ・土あげ祭3回、東之宮古墳修復プロジェクト1回

修復必要量12.5 m³－修復完了量約3 m³＝残り修復必要量9.5 m³

(2) 今後の修復案

残り修復必要量9.5 m³で、令和5年12月に3 m³の土を追加購入済み。

- ・令和6・7年度で市民の手により今年度購入した3 m³を修復。残りの6.5 m³を業者に委託し修復。業者の修復では山頂に集積された発掘調査で出土した石も埋め戻す。
- ・冬至の日の出見学会と土あげ祭については、参加者より「早朝からのイベントであり、冬至の見学を含め、何度も山を登るのは大変である。」との意見が複数あったため、冬至の日の出見学会のみとする。
- ・工事は、修復量の多い東之宮古墳修復プロジェクトの後に実施することとし、東之宮修復プロジェクトによる修復量を見ながら春分の土あげ祭までに工事が終わるように実施する。
- ・市民の手で修復した部分の手直しや転圧などの作業を令和7年の冬に行い、最後の土あげ祭である令和8年3月の春分の日の土あげ祭で最後の土を皆であげて修復完了とする。

(スケジュール案)

令和6年度

- 秋 東之宮古墳修復プロジェクト（車等を使った修復）
- 秋 業者による古墳の修復
- 冬至 冬至の日の出見学会（土あげ祭なし）
- 春分 土あげ祭(劇を交えた土あげ)

令和7年度

- 秋 東之宮古墳修復プロジェクト（車等を使った修復）
- 冬 業者による仕上げ
- 冬至 冬至の日の出見学会（土あげ祭なし）
- 春分 土あげ祭(修復完了)

(参考)

令和 4 年度 1 2 月開催「冬至の日の出と土あげ祭」修復量（1 か月後計測）

現地での計測・・・縦 1.5m×横 1.2m×高さ 0.1m=0.18 m³0.18 m³÷23 人≒0.008 m³（土あげ 2 回）1 回あたり 1 人 0.004 m³（土あげ 1 回）

古墳修復イベント修復想定

イベント開始時全体修復必要量残り 12.5 m³

令和 3 年度

秋分 中止

春分 参加 23 人(+10 人)修復量約 0.27 m³R3 合計修復量約 0.27 m³ 全体残り 12.23 m³

令和 4 年度

秋分 中止

冬至 参加 23 人(+8 人) 修復量約 0.12 m³（土あげ 1 回）春分 参加 26 人(+10 人) 修復量約 0.29 m³R4 合計修復量約 0.41 m³ 全体残り 11.82 m³

令和 5 年度

秋 東之宮古墳修復プロジェクト（車等を使った修復）

10 人程度 修復量約 2 m³

冬至 土あげ祭中止

春分 30 人程度想定(+10 人)修復量約 0.32 m³想定R5 合計修復量約 2.32 m³ 全体残り 9.5 m³

令和 6 年度(案)

秋 東之宮古墳修復プロジェクト（車等を使った修復）

20 人程度想定 修復量約 1.34 m³秋 業者委託による古墳の修復 6.5 m³想定

冬至 冬至の日の出見学会（土あげ祭なし）

春分 土あげ祭(劇を交えた土あげ) 修復量 0.32 m³想定市民 1.66 m³+業者 6.5 m³=8.16 m³R6 合計修復量 8.16 m³ 全体残り 1.34 m³

令和 7 年度(案)

秋 東之宮古墳修復プロジェクト（車等を使った修復）

20 人程度想定 修復量約 1.34 m³

冬 業者委託による仕上げ

冬至 冬至の日の出見学会（土あげ祭なし）

春分 土あげ祭(修復完了)

R7 合計修復量 1.34 m³

全体残り 0 m³

R7 年度修復完了